



水稲生産情報 (7月号)

令和3年7月15日
JA つがる弘前
弘前北地区営農係

幼穂形成期は7月9日と平年に比べ4日程度早い状況です。また、7月は穂ばらみ期、出穂開花期へと移行する時期です。生態に合わせた水管理を徹底しましょう。

《 生育状況 》

6月の気温が高く日照量も多かったため、7月7日の調査では生育量が確保されております。つがるロマンの幼穂形成期は、7月9日となり平年より4日早く推移しています。

【生育観測圃の穂首分化期調査結果（調査日：7月7日）】

品 種	年 度	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉色値	穂首分化期	幼穂形成期	走り穂 (予想)	出穂期 (予想)	穂揃期 (予想)
つがるロマン	本 年	51.8	22.1	39.1	7月1日	7月9日	7月28日	8月1日	8月4日
	平 年	52.0	25.4	38.3	7月5日	7月13日	8月1日	8月5日	8月8日
まっしぐら	本 年	61.9	21.8	39.9	6月29日	7月7日	7月25日	7月29日	8月1日
	平 年	53.0	23.3	38.0	7月4日	7月12日	7月31日	8月4日	8月7日

《 追 肥 》

生育量や葉色を見ながら追肥を行いましょ。

葉の色が淡くなっているところでは、7月19日頃（幼穂形成期後10日）までに「NK25号」を10aあたり1袋（窒素成分で2kg）追肥しましょ。また、19日頃になっても葉色が濃い場合は追肥を中止しましょ。

《 水 管 理 》

○水管理の目安（幼穂形成期～出穂開花期）

時 期（目 安）	水 深		備 考
	気温の高い日	気温の低い日	
幼穂形成期（7/9～）	10cm		中干しを終了し、湛水管理を行いましょ。
穂ばらみ期（7/16～）	5～6cm	15～20cm	気温と降水量を考慮した水管理を行いましょ。 また、高温の日は水の入れ換えや、掛け流しを行いましょ。
出穂開花期（7/28～）			

※気温の低い日とは、日中平均気温が20℃、日中最低気温が17℃を下回る日が目安となります。

※出穂後の10日間、日中30℃を超える日が続く場合は、胴割れ等の高温障害に注意しましょ。

《 病 害 虫 防 除 》

○カメムシ類：カメムシ類の発生量は、「やや多い」と予想されます。

耕種的防除として、水田周辺の草刈りは7月20日頃～9月上旬まで一時休止しましょ。

○いもち病：いもち病の発生量は、「平年並み」と予想されます。

いもち病の発生を確認した場合は、速やかに薬剤散布を行いましょ。

散布時期（散布日）	対象病虫害	薬 剤 名	10aあたり使用量
7月下旬（発生初期）	いもち病	ノンプラス粉剤DL	3～4kg
出穂直前（7/27頃）	いもち病	ビーム粉剤DL	3～4kg
穂揃期（8/4頃）	いもち病・カメムシ類	ビームスタークル粉剤5DL	3～4kg
	カメムシ類	スタークル粒剤	1kg
穂揃期7～14日後（8/11～18頃）	カメムシ類	ダントツH粉剤DL	3～4kg

航空防除について

航空防除によるいもち病防除は7月27日～28日を予定しております。

散布圃場には、必ず旗の設置をしてください。

旗には、「①申込者名、②水田の地番、③面積」の記入をお願いいたします。